

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	定期的な見直し、状況変化による見直しに加え、思いや意向に着目し、利用者一人ひとりを見た介護計画(個別ケア)となるよう創意工夫して取り組む必要がある。	本人がより良く暮らせるような介護計画書となるよう、個別ケアを具体的に記載していく。また、ご本人様だけでなく、ご家族様の意向も記載していく。	「ご本人様が望む生活」をみるだけで誰の介護計画書なのかが分かるような、生活に寄り添った内容にしていく。ご本人様の言葉で記載出来る事は記載し、計画内容の実現に努めていく。	12ヶ月
2	4	知見者の参加を促し、会議内容の充実を図り、会議で出された意見をホームの課題と受け止め、継続して検討し、結論を出す会議運営をする必要がある。	運営推進会議に「知見者」の出席を依頼していく。	当福祉会の第三者委員である大学講師に、運営推進会議の出席を依頼する。参加委員及び地域包括支援センター・市役所職員と連携を図り、より良い運営に努めていく。	12ヶ月
3	23	ご家族様へのアンケート結果にて、ご家族様の望む外出支援と現状にズレを感じる。利用者の外出状況を、より理解しやすく伝える工夫が必要である。	一人ひとりの希望に沿って、戸外に出かけられるように支援する。外出についてご家族様の意向も確認しながら適宜説明を行う。	ご利用者様の想いを普段の生活の中から職員全員で考えていく。導き出した想いを叶える事が出来るように、ご家族様の協力を得ながら、誕生日や行事にて、個別対応を通して行っていく。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。